

7. 国際交流

7.1 国際交流委員会

委員長：戸部 浩美 教授

委員：峰松教授、臺教授、北村教授、大貝共同研究講座教授、千原准教授、
長谷川共同研究講座准教授、大江講師、大橋講師、南條講師、室野助教

事務局：鳥元専門員

活動内容：

<前年度までの課題>

アメリカ看護研修（国際看護演習Ⅰ）の安全な実施に向けて、委員会全体で企画・運営を緻密に計画し、実施する。また、令和7年度のインドネシア看護研修（国際看護演習Ⅱ）実施に向け、現地視察および計画策定を行う。海外教員を招聘し、学生の異文化理解、国際看護への関心を高める。

<今年度の目標・改善点・年度計画>

1. アメリカ看護研修（国際看護演習Ⅰ）を実施する。
2. インドネシア看護研修（国際看護演習Ⅱ）にむけた現地視察を行う。
3. 海外から看護系教員を招聘し、国際交流研修を実施する。
4. 学生の異文化理解を深めるため、日本在留の海外留学生等との交流（International Café）を行う。

<今年度の活動実績・評価>

1. アメリカ看護研修（国際看護演習Ⅰ）を2024年9月5日～18日に実施した。また、2025年11月21日、2025年度アメリカ看護研修（国際看護演習Ⅰ）の説明会を行い、受講者の募集を行った。
2. インドネシア看護研修（国際看護演習Ⅱ）の2025年度開講に向け、2024年10月21日～26日、ムハマディヤ大学ジャカルタ校看護学部、ならびにムハマディヤ工科保健大学の視察を行った。また、2025年11月21日、2025年度インドネシア看護研修（国際看護演習Ⅱ）の説明会を行い、受講者の募集を行った。
3. 米国から3名の看護教員を招聘し講演会および院生・教員向けの個別指導を実施した。
 - 1) 招聘教授による講演会を以下のように開催した
 - ①Holli DeVon教授：教員への講演「Symptoms, Sex Differences, and Special Populations: Building the Science of Ischemic Heart Disease and Publishing Findings」を2024年8月5日（月）13時30分～14時30分に本学中講義室で行った。
 - ②Susan L. Dunn教授：大学院生への講義「Heart Up! : A Motivational Intervention for Patients with Heart Disease Who Report Hopelessness」を2024年8月5日（月）14時40分～15時40分に本学中講義室で行った。

- ③Ardith Z. Doorenbos教授：学部生への講義「Complementary, Integrative and Standard Rehabilitative Pain Therapies: Results of a Pragmatic Control Trial」. 教員と大学院生向け講演「Career Cartography: Career Mapping to Increase Impact」を2024年8月6日（火）12時～13時に本学中講義室で開催した。
- 2) イリノイ大学Doorenbos教授による院生および教員向けの個別研究指導を8月5日（月）15時30分～17時、6日（火）10時～11時に本学演習室で行った。
4. International Caféは、6月7日（金）16:20～17:50に体育館にてスポーツを通じた交流会を開催し、学生30名が参加した。

<次年度以降に向けた課題・発展>

アメリカ看護研修（国際看護演習Ⅰ）およびインドネシア看護研修（国際看護演習Ⅱ）の安全な実施に向けて、委員会全体で企画・運営を緻密に計画し、実施する。また、海外教員の招聘を継続し、インターナショナルカフェにおける学生の異文化理解、国際看護への関心を高める。